

平成15年6月26日

## 平成15年8月期 第3四半期の業績の概況

上場会社名 株式会社 有線ブロードネットワークス

(コード番号：4842)

上場取引所(所属部) 大阪証券取引所(ヘラクレス)

本社所在地 東京都千代田区永田町二丁目11番1号

問合せ先 責任者役職名 代表取締役社長

氏 名 宇野 康 秀

T E L (03) - 3509 - 7112

掲載単位：百万円（単位未満切捨て）

### 1. 業績

(1)平成15年8月期第3四半期（平成14年9月1日～平成15年5月31日）の業績

連結

	15年8月期 第3四半期累計	対前年同期 増減率	14年8月期 第3四半期累計	参 考	
				当第3四半期	前期（通期）
売 上 高	69,950	2.6	68,149	23,974	90,958
営 業 利 益	135	-	6,946	555	8,039
経 常 利 益	364	-	6,221	628	7,622

単 体

	15年8月期 第3四半期累計	対前年同期 増減率	14年8月期 第3四半期累計	参 考	
				当第3四半期	前期（通期）
売 上 高	71,789	4.3	74,984	24,757	98,525
営 業 利 益	6,353	-	967	2,678	255
経 常 利 益	4,839	-	97	2,290	1,048

(2)部門別売上高内訳（連結）

	15年8月期第3四半期 (当四半期)		対前年同期 増減率	14年8月期第3四半期 (前年同四半期)		参 考 前期（通期）	
	金 額	構成比		金 額	構成比	金 額	構成比
放 送 事 業	48,281	69.0	0.7	48,619	71.3	64,917	71.4
ブロードバンド事業	2,907	4.1	364.7	625	0.9	1,012	1.1
店 舗 事 業	8,721	12.5	6.6	9,333	13.7	12,413	13.6
カ ラ オ ケ 事 業	5,461	7.8	3.6	5,271	7.7	6,972	7.7
インターネット事業	2,288	3.3	39.5	3,781	5.6	4,902	5.4
そ の 他 事 業	2,290	3.3	342.3	517	0.8	740	0.8
合 計	69,950	100.0	2.6	68,149	100.0	90,958	100.0

## (3)主な資産・負債の変動について

## 連 結

項 目	15年8月期第3四半期	増 減 額	前 期 末
( 資 産 )			
現 金 及 び 預 金	9,441	12,286	21,728
受 取 手 形 及 び 売 掛 金	6,390	2,300	4,090
建 物 及 び 構 築 物	42,471	904	41,566
投 資 有 価 証 券	6,323	1,210	7,533
( 負 債 )			
支 払 手 形 及 び 買 掛 金	4,401	1,830	6,231
設 備 等 支 払 手 形	1,464	2,938	4,403
未 払 金	10,214	3,946	6,267
未 払 費 用	3,732	1,153	4,885
長 期 未 払 金	10,064	3,233	13,297
退 職 給 付 引 当 金	5,028	863	5,891

## 単 体

項 目	15年8月期第3四半期	増 減 額	前 期 末
( 資 産 )			
現 金 及 び 預 金	9,270	11,315	20,585
未 収 入 金	1,446	1,195	2,641
投 資 有 価 証 券	1,389	976	2,366
関 係 会 社 長 期 貸 付 金	14,730	8,310	6,420
( 負 債 )			
支 払 手 形	4,875	2,540	7,416
買 掛 金	935	966	1,901
未 払 金	9,525	4,331	5,193
長 期 未 払 金	10,064	3,233	13,297
退 職 給 付 引 当 金	5,028	863	5,891

注1：当四半期に係る数値について、公認会計士又は監査法人の監査は受けておりません。

2：金額に消費税等は含まれておりません。

## 2. 業績の概況

### (1) 当四半期の業績全般について

当第3四半期（自平成15年3月1日至平成15年5月31日）における、わが国の情報通信分野に目を向けますと、高速で大容量の情報通信が可能な、DSL、CATV、FTTHを含めたブロードバンドサービスのユーザーは、平成15年4月末時点で996万件（総務省の発表）となっており、高速通信サービスに対する需要の伸び率は堅調に推移していると考えられます

このような状況の中、当社グループは、放送事業におけるデジタル化（不要電線撤去に伴う経費圧縮）プロジェクトによりコスト構造も改善され、現在は光ファイバー・ブロードバンドサービスへ経営資源を集中させつつあります。その結果、当第3四半期の業績は、売上高は699億5千万円（前年同期比2.6%増）、また、営業利益は1億3千5百万円、経常損失は3億6千4百万円となりました。

各事業別の業績は次のとおりです。

#### < 放送事業 >

放送事業の売上高は、482億8千1百万円（前年同期比0.7%減）となりました。国内の景気不況により業務店顧客の減少傾向が続いてはおりますが、当社ではこれら業務店顧客の解約を押さえる為、業務店顧客を会員組織化し、店舗の運営や集客力向上に役立つ様々な物品を、共同仕入れにより安価で提供するサービスを行っております。これにより、従来BGM業者としてのみであった顧客との関係を、継続的なビジネスパートナーとして強化しております。

個人顧客においては、通信衛星によるデジタル音楽放送サービス「SOUND PLANET」が堅調にユーザー数を伸ばしております。また、ケーブルテレビ会社に当社の放送コンテンツを外販し、そのケーブルテレビ会社のネットワークを通じて、BGMサービスを楽しんで頂くという試みも一部地域において取り組んでおります。

#### < ブロードバンド事業 >

当社の提供する光ファイバー・ブロードバンドサービスは、高速・常時接続で安定した通信を実現し、光ファイバーのネットワークインフラ、インターネットへの接続サービスプロバイダ機能、ブロードバンドコンテンツの3つを一体提供し、ユーザーの利便性を重視したサービスとなっております。当四半期末現在において、契約者数111,845件、取付数68,455件となっており、売上高は29億7百万円（前年同期比364.7%増）となりました。自社ネットワークによる展開エリア数は102ヶ所（対象ユーザーカバー数：1,778,645件）となりましたが、現在は他社が保有する光ファイバーネットワークも有効に活用することで、サービス提供可能なユーザー数をそれ以上に拡大しております。商品ラインアップとしては、個人向けには「BROAD-GATE 01 TypeE」（最大100Mbps）「BROAD-GATE 01 TypeV」（最大16Mbps）を、法人向けには「BROAD-GATE 02」（最大100Mbps）を提供しています。また、当社グループの光ファイバーを利用したIP電話サービスである「GATE CALL」は、品質の高さや通話料金の安さに加え、“03”や“045”で始まる通常の電話番号が付与されることも寄与し、加入者を順調に伸ばしております。

#### < 店舗事業 >

店舗事業の売上高は、87億2千1百万円（前年同期比6.6%減）となりました。当四半期末における店舗数は、直営カラオケボックス『ゆー坊』80店舗、『アフリカ』『コロナアルリビング』等レストラン系店舗が9店舗、フランチャイズ本部加盟店舗が11店舗となっております。カラオケボックス業界をはじめ、消費者のライフスタイルの変化等を背景に事業者間の業績格差が鮮明になっている中、当社は顧客ニーズに対応した店舗開発・運営に努めております。

#### < カラオケ事業 >

カラオケ事業の売上高は54億6千1百万円（前年同期比3.6%増）となりました。業務用カラオケ市場においては、ナイト市場（居酒屋・スナック等）が縮小傾向にあり、業界内の競争は一段と厳しくなっておりますが、当社グループでは、株式会社ユーズ・ピーエムビーエンタテイメントを中心とし、株式会社タイカンやパイオニアグループ、クラリオングループのカラオケ関連会社と合併や資本提携を行ったことで、ナイト市場への販売力強化を図ると共に、業界トップに肉薄する通信カラオケの市場出荷シェアを確保してまいります。

#### < インターネット事業 >

インターネット事業の売上高は、22億8千8百万円（前年同期比39.5%減）となりました。インターネット事業は、単独事業部門として売上利益を上げるより、会社収益の柱である放送事業の販売に貢献するという方向性で、商品開発を進めております。例えば、クーポン情報検索サイトである『タウンピタ』は、業務店ユーザーの集客増に貢献すると共に消費者の利便性の向上を図っております。

### （2）新規事業、新商品について

当社は、現在法人市場向けに提供している100Mbpsの光ファイバインターネット接続サービス「BROAD-GATE02」に、新たに1Gbpsのサービス「BROAD-GATE02 光ギガビットアクセス」をサービス運営元の株式会社ユーズコミュニケーションズ並びにITX株式会社とともに企画・開発し、平成15年6月4日より営業を開始致しました。

拡大するブロードバンド市場、特に光ファイバーを用いた超高速インターネット接続の需要が高まる中、企業においてはビジネスユースを支える、より高速の接続に対する高いニーズが存在します。当社はこのニーズに対応するとともに、お客様のコスト削減・管理を容易にすべく、多くの場合従量制料金で月額コストが500～1,000万円にて提供されている他社同クラスのサービスに対して、月額料金を定額かつ48万円という競争力のある料金にてのサービス提供を可能としました。

#### 【サービス仕様】

- ◆ 1Gbpsベストエフォートのインターネット接続
- ◆ 1000BASE-LX（2心SCコネクタ）での接続
- ◆ オプションサービス：ダイナミックルーティング接続、ドメイン取得、DNSホスティング等

【サービス料金】（消費税含まず）

- ◆ 初期費用 280,000円
- ◆ 契約事務手数料 3,000円
- ◆ 月額基本利用料 480,000円/月
- ◆ ダイナミックルーティング接続（オプション）
  - 初期費用200,000円
  - 月額料金100,000円/月

【サービス開始時期】

- ◆ 営業開始 2003年6月4日

【サービス提供エリア】

- ◆ 都内主要ビジネスエリア

【販売計画】

- ◆ 6月4日より販売を開始、2003年12月末時点で150回線の販売見込み

（3）営業所、店舗等の統廃合及び出退店の状況

<組織変更> 平成15年4月7日付

HfX事業部とHfX営業部を統合してMD事業部とした（同軸ケーブルを活用した様々なサービスの企画・販売を担当）

<組織変更> 平成15年5月1日付

商品企画室をメディア・コマース事業部に改称（出版事業を担当）

<事業所の統廃合>

H15.3.1 大和郡山支店を閉鎖し、全域奈良支店へ統合

H15.4.1 三条支店を閉鎖し、長岡支店・新潟支店へ統合

魚津SCを閉鎖し、全域富山支店へ統合

可児支店を閉鎖し、全域多治見支店へ統合

藤枝支店を閉鎖し、静岡支店・掛川支店へ統合

藤井寺支店を閉鎖し、全域大阪狭山支店へ統合

新居浜SCを新設

H15.5.1 さいたま南支店を閉鎖し、さいたま支店・川口支店へ統合

新横浜支店が横浜第二支店に名称変更

横浜支店が横浜第一支店に名称変更

H15.6.1 北第二支店を新設

北支店が北第一支店に名称変更

(4) 試験研究活動の状況

該当事項はありません

(5) 新たに決定した重要な設備投資計画、事業提携又は提携の解消、合併や営業の譲渡

(営業の一部譲渡に関するお知らせ)

当社は平成15年6月10日、株式会社ユーズ・ビーエムビーエンタテインメント(以下「BMB」)との間で、大手カラオケルームチェーン店及び居酒屋チェーン店等(以下「ナショナルチェーン」)に対する、カラオケの販売及び楽曲配信事業の譲渡に関する契約を締結致しました。

1. 営業譲渡の理由

現在カラオケ業界は、長引く消費不況と価格低下による既存市場規模の縮小と、IT技術の進展及びネットワーク端末の増加による、携带着メロやPCカラオケ等のカラオケ関連アプリケーションの、新販路拡大の可能性という大きなチャンスの両局面を迎えています。

当社グループは既存市場でのシェアを拡大する為、昨年度はBMBにおいて広域ディーラーであったタイカンとの合併及びパイオニア・クラリオンのカラオケ事業子会社の買収を行い、結果として、通信カラオケの稼働端末管理台数において業界トップに肉薄するグループシェア31%(BMB推定)を確保することができました。この業界シェアを基盤に、事業運営面においては原価率、販管費率の更なる圧縮を図り、安定的かつ高収益の事業構造を確立しつつありますが、カラオケルーム市場においては通信カラオケの稼働端末管理台数のグループシェアが20%(BMB推定)にとどまっています。

このような状況を踏まえ、当社はBMBに対し、ナショナルチェーンに対するカラオケの販売及び楽曲配信事業を譲渡し、BMBにおいてナショナルチェーン等に対する統合的な一元管理体制を整備し、グループシェアの向上を図るとともに、より強固な収益基盤の確立を目指すこととしました。

2. 営業譲渡の内容

(1) 譲渡部門の内容

当社カラオケ事業の内、ナショナルチェーンに対するカラオケの販売・楽曲配信事業

(2) 譲渡部門の経営成績

当社譲渡部門の期間売上高 1,544百万円(平成14年4月～平成15年3月)

BMBの総売上高 26,809百万円(平成15年3月期)に占める割合: 5.8%

当社はナショナルチェーンにカラオケ機器の販売・楽曲配信を行っており、上記は、当社の当該部門期間売上高であります。なお、同一期間において、当社のBMBからの仕入高は、1,168百万円であります。

(3) 譲渡部門の資産、負債の項目及び金額

主な譲渡対象は、顧客とのカラオケ楽曲配信契約(約8千件)であり、譲り渡す資産及び負債はありません。

(4) 譲渡価額及び決済方法

譲渡価額は16億2千万円で、顧客に対するカラオケ楽曲配信に関する将来の情報料収入及び顧客へのカラオケ製品の販売による将来の利益見込額に基づいて算出しております。

なお、決済方法は現金により平成15年6月30日に決済する予定であります。

1. 四半期別売上高・利益推移表

連結

【単位:百万円】

38期	H14年8月期			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
売上高	23,428	21,838	22,883	22,809
営業利益	842	3,886	2,218	1,093
経常利益	16	3,675	2,563	1,401

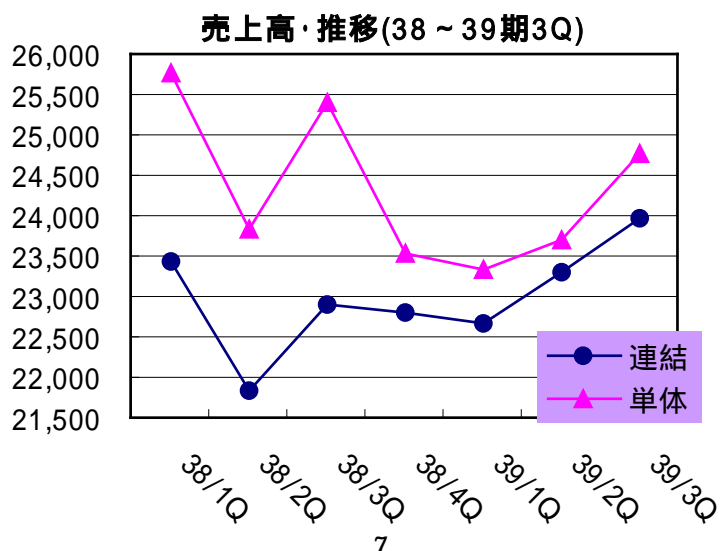
39期	H15年8月期			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
売上高	22,667	23,309	23,974	
営業利益	137	558	556	
経常利益	107	886	629	

単体

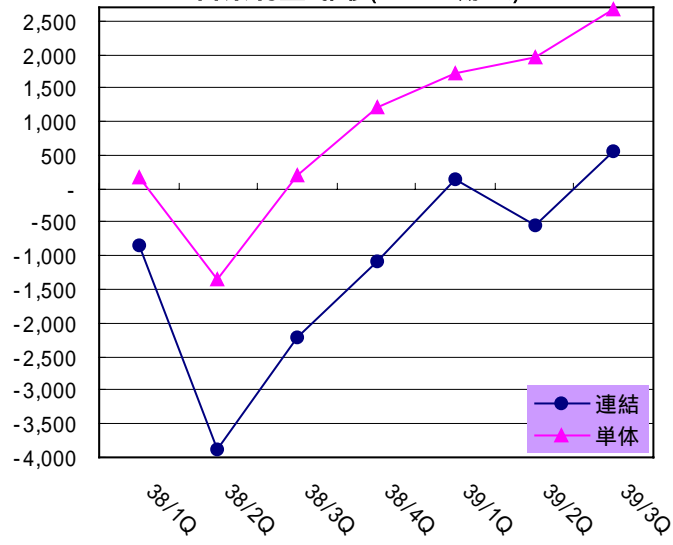
38期	H14年8月期			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
売上高	25,772	23,819	25,393	23,541
営業利益	176	1,357	213	1,224
経常利益	609	596	85	951

39期	H15年8月期			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
売上高	23,342	23,691	24,757	
営業利益	1,706	1,969	2,679	
経常利益	1,286	1,264	2,290	

2. 四半期別売上高・利益推移グラフ



営業利益・推移(38～39期3Q)



経常利益・推移(38～39期3Q)

